

備前市事務事業評価シート

(平成23年度事業)

事業の概要		根拠法令・例規等		森林病虫害等防除法	
事業開始年度	昭和46年度以前				
総合計画	大項目	基本目標	04	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	
	中項目	基本施策	01	豊かな食を支えるまちづくり	
	小項目	施策	02	林業	
事務事業名		02	森林普及振興事業		
		問	担当課(室)	農林水産課	
		合	職・氏名	係長 高井 利広	
		先	電話	0869-64-1836	
		このシート作成に要した時間			5.0 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	森林所有者、森林利用者等
目的(何のために)	生活環境保全林の整備と管理
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	森林の保全培養と森林生産の増進を図ることにより、国土の保全と災害防止等

Plan

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績		
細事業名	事業の説明	優先度
生活環境保全林管理事業	伊部区有林管理会へ大滝山地区内の生活環境保全林の除伐・刈払いの委託を行う	
水源林整備事業	作州かがみの森林組合へ水源林の除間伐の委託を行う	
林政事業	伐採届、保安林内作業許可申請の進達等林政一般事務	
森林整備計画等事務	森林整備計画に係る事務	
森林管理巡視事業	森林保護等を守るため森林組合が巡視を行う(吉永)	
森林総合利用施設管理運営事業	望ヶ丘のキャンプ場の管理(吉永)	
保健保安林管理事業	吉永地区の保健保安林の管理(吉永)	
松くい虫予防事業	日生大多府島に薬剤の地上散布を行う(4ha 2回実施)	
森林整備地域活動支援交付金	森林整備地域活動支援交付金事業実施による交付金の交付	
森林組合助成金	森林組合への助成	
緑の少年隊活動奨励金	みどりの少年隊への助成(備前中みどりの少年隊、三国みどりの少年隊)	
県緑化推進協会会費	各種団体への負担金等	
県林業改良普及協会東備支部負担金	各種団体への負担金等	
記念造林保育事業	記念林の保育を行う(吉永)	
募金及び植樹事業	緑化募金の推進を行うとともに、市内緑化推進団体へ緑化樹(ラフランス、肥料等)の現物支給を行う	

Do

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果		年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度目標値
成果指標名	松くい虫予防事業地上散布要望面積	目標値(A)	2	2	2	2
		実績値(B)	4	4	4	到達目標値
		達成率(B/A)	200.00%	200.00%	200.00%	4
成果指標設定の考え方・式や説明						
松くい虫予防事業地上散布の効果により散布要望面積が漸次減少していく。						

Check

事務事業の評価		該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください	妥当性評価
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い	C
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い
	目的達成度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い
市民参画度			C

事業の目的やその数値目標を評価する

進行年度(H24年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	松くい虫の予防事業に関しては地元要望と被害状況を鑑み今後の事業の継続を考える。						

総合評価	
生活環境保全林等の整備等は災害防止の観点からも継続していく必要度は高いが、松くい虫の予防事業は県内の事業実施状況や費用対効果等を検証するとともに、地元の意見を考慮しつつ検討していく必要がある。	総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い
	C

事業費等		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
事業費	直接事業費	千円	12,282	10,781	9,614
	必要人員人件費	千円	0.39人	3,793	3,814
	事業費計	千円	16,075	14,595	12,866
決算額	国庫支出金	千円	5,440	4,452	3,571
	受益者負担				
	繰入金	千円	158	179	
	その他()	千円	197	184	78
	一般財源	千円	10,280	9,780	9,217
受益者負担比率		%	-	-	-
結果指標名		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
結果指標	結果指標量	ha	4	4	4
	対前年比	%	-	100.0%	100.0%
	活動コスト	円	1,079,000	1,118,000	1,089,000
	単位当たりコスト	円	269,750	279,500	272,250

Action

平成25年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	松くい虫の予防事業に関しては地元要望と被害状況を鑑み今後の事業の継続を考える。						